



福住小中学校 学校通信



福住小中学校
令和4年10月3日
文責 神元 聡

世界に目を向ける 自立する 共に生きる

【 学校教育目標 】 一人ひとりが 元気で いきいきと輝く子ども

▶ 「タイパ」思考 ～ 近道を選ぶ人生は、面白くない ～

「タイパ」(タイムパフォーマンス)を、今若い世代が重視していると新聞のコラムに掲載されていました。映画やドラマは、見る前に結末がわかるネタバレサイトで調べ、ロコミの評価をチェックし、いざ視聴する際は倍速の早送りでというのが常識だそうです。これは、音楽CDやネット動画でも同じことのように。私たち大人が「無駄なことをするな!」と効率ばかりをあまりすぎたことが一因なのではと、少し考えてしまいます。

私たちの時代も、読書を楽しむテクニックとして、書籍の速読や読み飛ばし、結末を読んでから推理小説を読むなどする人はいましたが、「タイパ」という忙しい考え方では決してありませんでした。かくいう私も、日々のYouTubeチェックや通勤中のオーディブルは、常に倍速で視聴しているので若者の気持ちも少しはわかります。

今、好きなものや趣味がなく、やりたいことを見つけることができない若者がたくさんいるとよく耳にします。若者の自分探しは、今に始まったことではないと思いますが、好きなことというのは、無駄な経験を含めたいろいろな経験をたくさん積むことで、自然と見つかっていくのではないかと、私は考えています。「読書の秋・スポーツの秋」の到来です。福住っこたちには、手当たり次第、無駄にたくさん本を読んでほしいし、チャレンジできることに(タイパなど気にせず)どんどん無駄な挑戦をしてほしいです。そのときに大人たちは「ちょっと寄り道や、正解じゃないことをしてごらん!そうすると新しい景色や気づきに出会えるよ!」と、余裕を持って、じっくり見守ってあげたいなあ～と、天高き空の下、秋風に吹かれながらしみじみ感じる今日この頃です。

「話す」「書く」力の育成

本校では、「話す・書く」というアウトプット力の育成のため、様々な外部のコンクールに挑戦しています。『話す』では、校内で行う「私の主張発表会」でお互いのスピーチ力を高めあった後、11月開催の「私の主張inてんり」を目指します。「少年の主張全国大会」では努力賞受賞、「奈良県英語スピーチコンテスト」にも果敢にチャレンジしました。『書く』では、昨年度は「社会を明るくする運動」で小学部・中学部とも「天理市長賞」、「税についての作文」で「奈良納税貯蓄組合連合会会長賞」を、今年度の応募作品の発表はこれからですが、「全日本水の作文コンクール」で「優秀賞」を受賞しています。今後も、たくさん挑戦してくれることを期待しています。

私の主張発表会 ～ 伝える力 ～

9月16日(金)私の主張発表会が開催されました。発表者は小学部1人、中学部6人で、どの発表



者も、自分が日々生活する中で考えていることや気づいたことを、自分の言葉で全校児童生徒にしっかりと伝えることができました。以下に発表してくれたタイトルを掲げておきます。

- ① 守りたいふるさとのほこり
- ② 努力とは何か
- ③ 涼しく適度な節電を
- ④ 未来は・・・
- ⑤ 飢餓で苦しむ人を救うために
- ⑥ 農業をする人
- ⑦ 自分らしく生きるために



創立記念日 「10月18日」の創立記念日は、令和2年度の児童会・生徒会で協議・決定されました。

